

令和2年度 「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報



令和 2 年度
「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報

群馬県

例 言

1. 本書は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録年度を起点とし、各年度における出来事や、保存修理、モニタリング結果、普及啓発及び調査研究等の事業の実施状況の概要を年度ごとに記録して冊子としてまとめることで、今後の世界遺産関係事業の実施のための参考とするとともに、本書を公開し、世界遺産を将来の世代に継承するための取組について広く周知することを目的として作成したものである。
2. 本書の編集は、富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町の協力のもと、群馬県地域創生部文化振興課が行った。

—(表紙写真)—

- (左上) 富岡製糸場 西置繭所 多目的ホール
(右上) 田島弥平旧宅 別荘工事の様子
(左下) 高山社跡 長屋門・石垣
(右下) 荒船風穴 番舎遺構ゾーン

目 次

第1章 令和2年度の主な出来事	
1. ユネスコ定期報告	… 2
2. 保存修理事業の進展	… 5
3. 新型コロナウイルスの感染症の影響	… 9
4. 世界遺産センターの開設、県組織改編	… 9
第2章 構成資産の保全管理・調査研究等に関する状況	
1. 主な文化財保存事業の実施状況	… 12
2. 主な現状変更及びき損届一覧	… 15
3. 群馬県世界遺産協議会及び各市町における有識者委員会の実施状況	… 18
4. 各構成資産への来訪者数の推移	… 20
5. 周辺整備の状況	… 22
6. 群馬県及び各市町における基金の状況	… 24
7. 調査研究事業の実施状況	… 25
8. 日本遺産・ぐんま絹遺産	… 27
第3章 普及関連事業の実施状況	
1. 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等研究奨励事業「絹ラボ」	… 30
2. 群馬県及び各市町における普及関連事業	… 32
3. 主な民間の活動	… 34
4. 群馬県及び各市町からの発行物一覧、群馬県提供写真利用許諾件数	… 36
第4章 群馬県立世界遺産センターの取組み	
1. 群馬県立世界遺産センターの運営	… 40
2. 普及活動	… 41
3. 学校教育連携事業	… 41
4. 調査研究	… 42
県及び各市町の組織・体制	… 43
利用案内	… 44

第 1 章

令和 2 年度の主な出来事

1. ユネスコ定期報告

(1) 概要

ユネスコ「世界遺産条約履行のための作業指針」では、世界遺産条約第29条に基づき、条約を適用するために自国がとった立法措置、行政措置や個々の世界遺産の保全状況に関する定期的な報告を、6年周期（世界を6地域に分けて地域ごとに実施）で提出することを義務づけている。

アジア・太平洋地区は令和2（2020）年度に回答作業を行い、令和4（2022）年の第46回世界遺産委員会において審議される予定となっている。「富岡製糸場と絹産業遺産群」は今回が初めての定期報告となる。

(2) 目的

- ア 条約の履行状況評価
- イ 世界遺産の価値の維持状況評価
- ウ 世界遺産の環境や保全状況の変化に係る最新情報の把握
- エ 条約の履行及び世界遺産の保全における地域的協力、締約国間の情報・経験の共有

(3) 報告内容

セクションⅠ「締約国における世界遺産条約の適用」（国が作成）とセクションⅡ「特定の世界遺産物件の保全状況」（各世界遺産の管理者が作成）で構成される。回答は4市町と調整の上、県が作成し、文化庁の確認を受ける。なお、回答はすべてユネスコ世界遺産センターのオンラインフォームから行う。設問内容と主な回答内容は（5）、（6）のとおり。

(4) スケジュール

令和2年10月下旬	文化庁によるオンライン説明会
	【県】セクションⅡ質問票回答作業（日本語で入力）
11月	【県→文化庁】セクションⅡ回答提出（11月30日締切）
12月	【県⇄文化庁】回答内容の確認・調整
令和3年1月	【県・文化庁】日本語版完成（1月末）
2月	【文化庁】回答の英訳
3月	【県⇄文化庁】英語版回答の確認
	【文化庁】暫定版回答提出（3月30日締切）
4月～6月	暫定版回答に対するコメント・助言があった場合に適宜対応
	【県・文化庁】最終版回答の確認
7月	【文化庁】最終版回答提出（7月31日締切）
令和4年7月	第46回世界遺産委員会（予定）で審議

(5) セクションⅡの設問

章	大項目	小項目	設問数
1	世界遺産資産に関するデータ	名称、資産の詳細、地理情報、地図、ウェブサイト	5
2	世界遺産の保護に関わる他の条約・プログラム	武力紛争の際の文化財の保護に関する条約、ラムサール条約、エコパーク、世界ジオパークとの関わり	20
3	顕著な普遍的価値の宣言	顕著な普遍的価値の宣言の確認、属性の評価（5つ程度、最大15）、関連するコメント・決定・提案	3
4	資産に影響を与える要因 資産に正負の影響を及ぼしている又は及ぼす可能性が高い要因についての情報を記入	4.1 建造物と開発（6項目） 4.2 交通施設（6項目） 4.3 公共事業施設（6項目） 4.4 汚染（7項目） 4.5 生物資源の利用・変更（11項目） 4.6 物質資源の採掘（5項目） 4.7 自然環境構造に影響を及ぼす地域条件（9項目） 4.8 遺産の社会的・文化的利用（7項目） 4.9 その他の人間の活動（7項目） 4.10 気候変動と深刻な天災（8項目） 4.11 突発的な生態的または地質的事象（7項目） 4.12 侵略的外来種または異常発生物種（7項目） 4.13 管理体制・管理計画（9項目） 4.14 その他の要因（1項目） 4.15 要因一覧表（自動表示） 4.16 進行中及び潜在的な政府の要因の評価 （これまでの設問の回答内容によって変動） 4.17 （国内または国際的な）シリアル登録（1項目） 4.18 次回定期報告における保全状況の予測（1項目）	160 (60)
5	資産の保護及び管理	境界線及び緩衝地帯、保護対策、管理体制・管理計画に関する設問	32
6	財源及び人材	資産の管理における財源、人材、能力開発等に関する設問	13
7	科学的調査及び研究プロジェクト	科学的及び伝統的知識、研究プログラム等に関する設問	4
8	教育、情報発信並びに意識構築	教育、情報発信、インタープリテーション、啓発の取組等に関する設問	5
9	訪問者管理	資産における観光及び来訪者管理等に関する設問	17
10	モニタリング	資産のモニタリング、使用する指標等に関する設問	8
11	優先度の高い管理ニーズの特定	更なる取組を必要とする管理ニーズ（第4章の回答に基づき自動表示され、最大10項目を選択）	1
12	まとめ及び結論	第11章で選択した管理ニーズについて、資産に影響を与える要因、必要な管理のために実施されている取組等に関する設問（設問数は前章までの回答内容により変動）	6
13	世界遺産としての地位の影響	各論点が世界遺産としての地位に与える影響を評価	22
14	世界遺産条約の履行に係る優れた取組	各資産で実施されている世界遺産の保全や維持に係る優れた取組の事例	2
15	定期報告の評価	定期報告作業の様式、内容、工程等の評価	19
	合計		317

(6) 主な回答内容

第4章 資産に影響を与える要因

【回答】各項目について、関連の有無を判断し、関連のある項目の正負の影響を評価

○「関連あり」のうち、正の影響を与えていると判断される項目

- ・ 4.1 (県立世界遺産センター等のガイダンス施設設置)、4.2 (駅や道路の交通利便性)、4.5 (養蚕業の継続)、4.5 (林業の継続)、4.8 (伝統文化、地元への影響、観光がもたらす影響に伴う地域活性化)、4.13. (管理体制、人材、財源、研究の確保) を報告

○「関連あり」のうち、負の影響が進行中であると判断される項目

- ・ 4.3において緩衝地帯における太陽光発電施設の開発と、現時点では資産への影響は小さい又は軽微であること、荒船風穴周辺における携帯電話基地局の建設と、そのことによる資産への影響は小さいことを報告
- ・ 4.10において台風19号の影響(重大な被害なし)と復旧について報告
- ・ 4.11において富岡製糸場の南面崩落対策工事について報告

第5章 資産の保護及び管理

【回答】資産の境界線及び緩衝地帯の範囲、資産の管理(法令、計画、管理体制、関係者間の連携)が適正に機能していること等を報告

第6章 財源及び人材

【回答】世界遺産の保全に係るコストの財源、予算・人材・能力開発が概ね適正であること等を報告

第8章 教育、情報発信及び意識啓発

【回答】世界遺産の教育普及活動(子ども向けを含む)を実施していること、ガイダンス施設をはじめとする情報発信が有効に機能していること等を報告

第9章 来訪者管理

【回答】過去5年間の年間来訪者数、来訪者の平均支出額、観光収入(入場料等)が資産の管理に貢献していること等を報告

第10章 モニタリング

【回答】指標を定めて資産のモニタリングを実施していること、世界遺産委員会の勧告履行に向けて調査研究に取り組んでいくことを報告

第12章 まとめ及び結論

【回答】資産の真正性、完全性、顕著な普遍的価値及びその他文化的価値が維持されていることを報告

第14章 世界遺産条約の履行に係る優れた取組

【回答】優れた取組の事例として、富岡製糸場西置繭所の保存整備、田島弥平旧宅の緩衝地帯内における伝統的建造物の保存、高山社跡の持続可能な保全活動、荒船風穴の石積みの定点観測について報告

2. 保存修理事業の進展

(1) 富岡製糸場

富岡市では、平成24年10月に策定された「史跡・重要文化財（建造物）旧富岡製糸場整備活用計画」に基づき、30年に及ぶ建造物群の保存修理が計画されており、大規模な工事では最初となる西置繭所の修理が平成26年度から7か年計画で開始された。令和2年度はその7か年目（最終年度）にあたる。

・西置繭所

外周部の雨仕舞に関する保存修理として、外構工事の発注を行い、令和2年5月に完了。整備活用工事では、展示什器及び見学者範囲の外構に係る整備工事等を行い6月に完了。

ギャラリー（資料展示室）、多目的ホール、ホワイエなどが整備され同年10月3日（土）グランドオープンした。



完成後の西置繭所



ギャラリー（資料展示室）



多目的ホール



ホワイエに整備された年表

西置繭所保存整備事業の概要

<p>工 事 の 目 的</p>	<p>建設から150年近く経ち老朽化がみられるため、文化財として適切に維持継承できるように保存修理、耐震補強、また、活用のための整備工事を実施。文化財としての価値の保存と積極的な活用を両立させるため、保存修理と耐震補強と活用のための整備計画を同時に検討し、1階については耐震補強のための鉄骨を骨組みとしたガラスのハウス・イン・ハウスを導入してギャラリー（資料展示室）と多目的ホール、ホワイエを整備した。</p>
<p>工 事 の 概 要</p>	<p>工 事 期 間 平成27年1月から令和2年6月 工事費概算 約35億円（国庫補助率50%、県補助率25%） 設計管理者 公益財団法人 文化財建造物保存協会 施 工 業 者 竹中・タルヤ共同企業体</p>
<p>保存修理の主な内容</p>	<p>屋根の葺替え（瓦は6割を再利用） 部 分 修 理（1階床板と2階ベランダの解体修理、建具、塗装等） 修復年の設定 昭和49年頃（1階北東面の美装煉瓦壁の取外し）</p>
<p>整備の主な内容</p>	<p>音声ガイドアプリ：メインガイド（5言語）、浪曲ガイド（日本語・英語解説） 多目的ホール（約248m²/200席） ギャラリー（案内カウンター、16m年表） エレベーター、階段、トイレ（多目的/女子/男子）、出演者控室</p>
<p>受 賞 歴</p>	<p>令和3年2月 「日本エコモス賞2020」 主催：（一社）日本エコモス国内員会 令和3年5月 「2021年 照明デザイン賞」優秀賞 主催：（一社）照明学会 令和3年11月 「日本空間デザイン賞2021」博物館・文化空間部門 金賞 主催：（一社）日本商環境デザイン協会 （一社）日本空間デザイン協会</p>

(2) 田島弥平旧宅

伊勢崎市では、平成28年3月に策定した「史跡田島弥平旧宅整備基本計画」に基づき、保存修理や整備活用を計画している。別荘と呼ばれる建物は、田島弥平旧宅内の現存する建造物の中で最古のものである可能性があり、また、屋根の劣化破損による漏水、瓦のずれ等も厳しい状況であるため、建造物の修理としては最初に着手することとした。平成30年3月に策定した「田島弥平旧宅別荘及び冷蔵庫跡整備実施設計」を基に平成30年7月より史跡田島弥平旧宅別荘整備工事を開始し今年度で3か年目の整備を行った。

・別荘及び冷蔵庫跡

令和2年度に行った工事は次のとおりである。屋根工事では瓦の葺き直しを行い、左官工事では屋根瓦及び外壁の漆喰仕上げを行った。また修理及び新規に作成した建具の取付や、自動火災報知機の設置などを行った。外構工事では冷蔵庫跡のコンクリート面の劣化防止処理のほか、見学者用の通路の設置を行い令和3年3月に完了した。



屋根に漆喰を塗る作業



冷蔵庫跡のコンクリートの保存処理



修理前（東側と冷蔵庫跡）



修理後（東側と冷蔵庫跡）

(3) 荒船風穴

下仁田町では、平成28年3月に策定した「荒船風穴蚕種貯蔵所跡整備基本計画」に基づき、整備を進めている。令和2年度は、令和元年東日本台風の影響により繰越した番舎遺構ゾーンの平地の整備と、斜面地の整備を実施した。

平地には番舎（管理棟）や池等の関連施設が存在し、斜面地には蚕種紙搬出入路や作業道が通っていた。荒船風穴の管理運営に関わる部分であり、整備により蚕種貯蔵所の全体像が実感しやすくなった。

主な工事内容

・平地整備工事

令和元年度から繰越となった排水対策（傾斜の調整、側溝の設置等）、遺構表現、透水性洗い出しコンクリート舗装等を行った。

・斜面地の園路整備及び遺構表現

斜面地の蚕種紙搬出入路及び作業道を木チップ舗装と枕木階段で園路として散策できるように整備した。作業小屋や導水管のあった場所には、平地と同様にインターロッキングや自然石縁石で遺構表現を行った。

また、3号風穴南側の石段は保護層を確保した上で玄武岩により復元を行い、平地の整備で生じた高低差により追加する段は擬石コンクリート階段を使用することで区別がつくようにした。

・フトンカゴの設置

3号風穴南側の土留め石積みの一部を平成27年度から土嚢で補強していたが、これを撤去し、フトンカゴに置き換えた。



園路と作業小屋の遺構表現



石段下からの眺望
石段の奥にフトンカゴがある

3. 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルスの感染拡大によって令和2年4月16日から同年5月14日まで全国に緊急事態宣言が発令されていた。各資産では休場等の対応を行い、富岡製糸場では令和2年3月29日から5月31日まで閉鎖となった。田島弥平旧宅では3月10日から5月31日まで解説業務と桑場への入場を休止し、高山社跡については令和2年4月14日から5月31日まで、荒船風穴は令和2年4月1日から5月31日まで休場した。なお、田島弥平旧宅については、令和3年2月8日から3月22日の間も解説業務と桑場への入場を休止した。

6月1日からは、各資産では群馬県のガイドラインに基づき、検温、手指消毒の徹底、見学エリアの一部制限など感染防止対策を徹底した上で見学を再開した。

各資産の年間来場者数は、富岡製糸場では177,419人となり、前年度と比較すると約40%となった。田島弥平旧宅では8,916人で前年度比約58%、高山社跡では5,184人で前年度比約27%、荒船風穴は7,609人で前年比約76%となった。全ての資産で前年度の来場者数より大幅に減少した（詳細は第2章4（20頁～21頁）参照）。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大前は各資産とも様々なイベントや体験事業を行っていたが、令和2年度は中止や実施内容の変更が生じ、例年よりも少なくなっている。県民団体等によるボランティア活動も、イベント等の中止に伴い減少した。

4. 群馬県立世界遺産センター（セカイト）の開設、県組織改編

（1）群馬県立世界遺産センター（セカイト）の設立

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値や魅力をわかりやすく紹介するとともに、大学や関係機関、民間と連携し、世界遺産をはじめとした絹産業等の研究に取り組む施設として、群馬県立世界遺産センター（愛称：「世界を変える生糸の力」研究所、略称：セカイト）を富岡市に設置した。

平成25年度に「富岡製糸場と絹産業遺産群」総合管理活用機構検討委員会がとりまとめた「総合管理活用に関する機構（体制）基本構想」に基づき設置の検討が進められる中、富岡市から提案があり、市が取得し改修を行う旧富岡倉庫1号倉庫に、県がセンターを設置することを平成29年1月に決定した。

施設の設置にあたり、群馬県立世界遺産センターの設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則を令和元年12月24日に公布、令和2年3月27日に施行し、同日、センターを開設した。

しかし、令和2年初頭の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一般公開を延期し、当初の予定より2か月後の令和2年6月1日に開館した（第4章参照）。

（2）県組織改編

県立世界遺産センターが設置されたことを受け、群馬県の令和2年度組織改正により、世界遺産課は廃止されるとともに、地域創生部文化振興課歴史文化遺産室に世界遺産係が新設され、世界遺産の保存活用等の事務を所管することとなった（43頁参照）。

第 2 章

構成資産の保全管理・調査研究等に関する状況

1. 主な文化財保存事業の実施状況

令和2年度に各構成資産で行われた主な文化財保存事業については以下のとおりである。

(1) 富岡製糸場

①西置繭所（詳細は第1章2（5頁）を参照）

平成26年度からの7か年計画の7か年目にあたり、継続して保存修理工事を行った。展示什器、外構の工事を行い、令和2年6月に完成、同年10月にグランドオープン。

②乾燥場・繭扱場保存修理工事

平成26年2月の大雪により被災した乾燥場・繭扱場について保存修理を実施するため、乾燥場については解体調査工事を行い、また繭扱場については耐震補強基礎の施工箇所の土間コンクリートの解体工事を行った（次年度以降も継続）。

③総合防災設備

平成30年度から3か年計画として実施する1期工事の最終年にあたり、場内消火配管の整備及び自動火災報知器の整備を行った。

④発掘調査

乾燥場・繭扱場保存修理工事に伴う発掘調査、総合防災整備に伴う発掘調査を実施（継続）。



乾燥場・繭扱場 地盤アンカー施工状況



防災設備を設置した社宅85室内

(2) 田島弥平旧宅

①別荘整備工事（詳細は第1章2（7頁）を参照）

平成29年度に策定した「田島弥平旧宅別荘及び冷蔵庫跡整備実施設計」に基づき平成30年度より引き続き整備を行い今年度完了した。

②発掘調査

発掘調査では令和3年度の東門修復整備工事に伴う東門周囲の遺構確認、排水設備の状況確認及び新蚕室跡と隠居の範囲確認のための調査を行った。



別荘整備完成後の状況



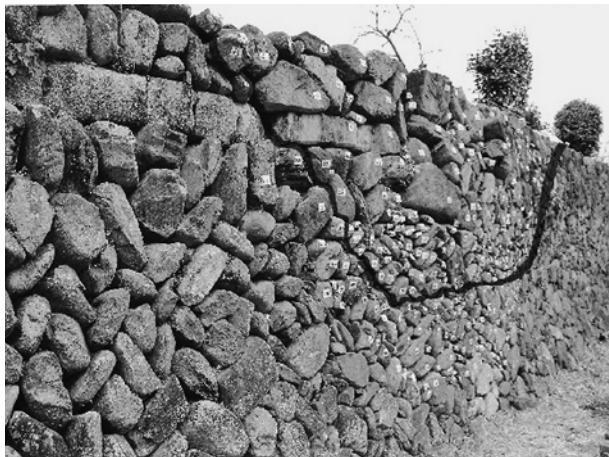
発掘調査の状況

(3) 高山社跡

①長屋門前面石垣修復工事

石垣修復工事は、石垣の孕み出しの見られる範囲において、石垣の保護及び利用者の安全確保を目的に、平成30年度から令和2年度に渡り、施工箇所を3か所に分けて、石材の番付、解体、積み直しの順で実施した。

令和2年度の石垣修復工事（第3期）では、石垣の裏込め等のずれ防止にムシロ敷きと粘性土の交互版築を行い、測量図・実測・石材カルテに基づき、石垣を復原、積み直しを実施し、完了



石垣解体範囲（太線で示した部分）



完成した石垣

した。また、石垣上部の通路の法肩付近に瓦列縁石を設置し、通路・法面に土系舗装を実施した。これらの工事により、長屋門前の景観が向上した。

(4) 荒船風穴

①番舎遺構ゾーン（詳細は第1章2（8頁）を参照）

番舎（管理棟）等があった平地の東側斜面を中心に、蚕種紙搬出入路と作業道を園路として散策できるように整備し、作業小屋のあった場所に平地と同様の遺構表現を行った。また、3号風穴南側の土嚢補強部分をフトンカゴに置き換えた。

②支障木伐採

番舎遺構ゾーン（平地）の西側に生えたスギ2本を、見学者の安全確保や景観保全のために伐採した。



伐採前（白枠内の木が対象）



伐採後（白枠内が切り株）

③遺構・隣接地岩塊の危険箇所への定点設置、観測

遺構や隣接する岩塊を常時監視し異常を早急に感知するために、平成26年度から定点観測を実施している。令和2年度は5月、8月、11月、2月の4回観測を行った。

これまで移動幅が大きかったトータルステーションNo.14は令和2年度は移動幅が大きくなかったが、簡易クラックゲージNo.4と新設したNo.14、No.15はわずかながら移動が見られ、継続的な監視が必要である。また、伸縮計は電池切れにより断片的な観測になったため、計器の点検頻度を増やすこととした。

- ・石積みに不具合が生じている場所や、今後施設に影響を与える可能性が高い隣接する岩塊等、19か所に観測点（TS）を設置して移動量を観測。
- ・令和2年2月に2か所追加した15か所で簡易クラックゲージ（デジタルノギス）により移動量を観測。うち、3か所は安全確保のため週1回の計測を実施している。
- ・3号風穴北側石積みの1か所に伸縮計を設置して観測。

2. 主な現状変更及びき損届一覧

令和2年度 文化財保護法に基づく現状変更届一覧

※重要文化財は文化財保護法第43条、史跡は同第125条による。

富岡製糸場

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	富岡市長	社宅73及び74雨漏り修繕	R 2. 4. 1	R 2. 4. 1	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 4. 1 ~ R 2. 5. 29	R 2. 5. 29
2	富岡市長	社宅85活用整備	R 2. 4. 1	R 2. 4. 1	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 4. 1 ~ R 2. 4. 30	R 2. 4. 30
3	富岡市長	男子寄宿舎社宅73及び社宅74雨漏り修繕足場設置	R 2. 4. 3	R 2. 4. 3	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 4. 3 ~ R 2. 4. 22	R 2. 4. 22
4	富岡市長	社宅72屋根修繕	R 2. 4. 3	R 2. 4. 3	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 4. 3 ~ R 2. 4. 22	R 2. 4. 22
5	富岡市長	東置繭所東面北側アスファルト舗装修繕	R 2. 4. 27	R 2. 4. 27	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 4. 27 ~ R 2. 6. 5	R 2. 6. 5
6	富岡市長	西置繭所東側渡廊下スロープほか設置	R 2. 5. 8	R 2. 5. 8	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 5. 8 ~ R 2. 5. 21	R 2. 5. 20
7	富岡市長	夏季における熱中症対策	R 2. 5. 21	R 2. 5. 21	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 5. 21 ~ R 4. 5. 20	
8	富岡市長	首長館内の休憩スペース設置	R 2. 5. 25	R 2. 5. 25	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 5. 25 ~ R 2. 9. 30	R 2. 10. 1
9	富岡市長	線糸所における仮設足場設置	R 2. 7. 6	R 2. 7. 6	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 7. 6 ~ R 2. 9. 14	R 2. 9. 15
10	富岡市長	線糸所仮設足場設置	R 2. 7. 13	R 2. 7. 13	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 7. 13 ~ R 2. 12. 28	R 2. 12. 25
11	富岡市長	灰置場付近案内看板移設	R 2. 9. 8	R 2. 9. 8	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 9. 8 ~ R 2. 10. 2	R 2. 10. 2
12	富岡市長	総合防災設備工事に伴う剪定	R 2. 9. 15	R 2. 9. 15	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 9. 15 ~ R 2. 12. 27	R 2. 10. 29
13	富岡市長	西置繭所グランドオープン記念式典開催	R 2. 9. 25	R 2. 9. 25	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 9. 25 ~ R 2. 11. 1	R 2. 11. 1
14	富岡市長	診療所渡廊下修繕	R 2. 10. 12	R 2. 10. 12	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 10. 12 ~ R 2. 11. 30	R 2. 11. 6
15	富岡市長	世界遺産劇場開催	R 2. 10. 19	R 2. 10. 19	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 10. 19 ~ R 2. 10. 27	R 2. 10. 27
16	富岡市長	PIECE OF PEACE『レゴ®ブロック』で作った世界遺産展 PART-4	R 2. 10. 23	R 2. 10. 23	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 10. 23 ~ R 2. 12. 15	R 2. 12. 15
17	富岡市長	市道舗装工事及び水路蓋交換	R 2. 11. 2	R 2. 11. 2	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 11. 2 ~ R 3. 5. 31	
18	富岡市長	西置繭所東側渡廊下照明設置	R 2. 11. 9	R 2. 11. 9	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 11. 9 ~ R 2. 12. 28	R 2. 11. 16
19	富岡市長	社宅73機器取替え	R 2. 11. 24	R 2. 11. 24	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 11. 24 ~ R 2. 12. 28	R 2. 11. 27
20	富岡市長	総合防災設備説明看板設置	R 2. 11. 30	R 2. 11. 30	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 11. 30 ~ R 3. 1. 31	R 2. 12. 28

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
21	富岡市長	西置繭所仮設階段設置	R 2. 12. 7	R 2. 12. 7	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 12. 7 ~ R 2. 12. 20	R 2. 12. 15
22	富岡市長	東置繭所北側繭玉飾り設置	R 2. 12. 18	R 2. 12. 18	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 12. 18 ~ R 3. 1. 18	R 3. 1. 18
23	富岡市長	日仏交流落語公演会	R 2. 12. 21	R 2. 12. 21	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 12. 21 ~ R 3. 1. 24	R 3. 1. 19
24	富岡市長	絵手紙公募展開催	R 2. 12. 28	R 2. 12. 28	富岡市教育委員会 教育長	R 2. 12. 28 ~ R 3. 2. 22	R 3. 2. 22
25	富岡市長	社宅72修繕及び社宅74補強	R 3. 1. 6	R 3. 1. 6	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 1. 6 ~ R 3. 3. 31	R 3. 2. 22
26	富岡市長	揚返工場屋根修繕	R 3. 1. 27	R 3. 1. 27	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 1. 27 ~ R 3. 2. 26	R 3. 2. 3
27	富岡市長	繭置場北側両開き戸及び東排繭廊下北側引き戸修繕	R 3. 1. 29	R 3. 1. 29	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 1. 29 ~ R 3. 5. 31	
28	富岡市長	副蚕倉庫・副蚕場仮設足場設置	R 3. 2. 16	R 3. 2. 16	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 2. 16 ~ R 3. 3. 31	R 3. 3. 1
29	富岡市長	東京2020オリンピック聖火リレー開催	R 3. 3. 9	R 3. 3. 9	富岡市教育委員会 教育長	R 3. 3. 9 ~ R 3. 4. 1	R 3. 4. 1

田島弥平旧宅

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	伊勢崎市長	別荘及び冷蔵庫跡修復整備工事及び発掘調査	R 2. 3. 2	R 2. 4. 17	文化庁長官	R 2. 4. 17 ~ R 3. 3. 31	R 3. 4. 26

高山社跡

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	藤岡市長	石垣修復工事	H30. 12. 12	H31. 1. 18	文化庁長官	H31. 1. 18 ~ R 4. 3. 31	

荒船風穴

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	下仁田町長	(1) 番舎遺構ゾーン(斜面地)整備工事 (2) 番舎の池の調査事業 (3) 番舎東法面对策事業	R 2. 4. 10	R 2. 5. 22	文化庁長官	R 2. 6. 26 ~ R 3. 3. 31 (予定)	内容、期間変更申請により延長
2	下仁田町長	(1) 番舎遺構ゾーン(斜面地)整備工事の内容変更及び (2) 番舎の池の調査事業及び (3) 番舎東法面对策事業の期間変更	R 2. 10. 15	R 2. 11. 16	文化庁長官	R 2. 6. 26 ~ R 4. 3. 31 (予定)	
3	下仁田町長	番舎跡の仮設見学場所及び通路の設置(番舎遺構ゾーン(平地)整備工事終了まで)	R 2. 10. 12	R 2. 11. 20	文化庁長官	R 1. 8. 28 ~ R 2. 7. 31	R 2. 12. 10
4	下仁田町長	支障木の伐採事業	R 2. 11. 27	R 2. 12. 3	群馬県知事	R 2. 12. 14 ~ R 3. 1. 18	R 3. 1. 25
5	下仁田町長	3号風穴はばき石積み落石対策工事	R 3. 3. 11	R 3. 5. 21	文化庁長官	R 3. 7. 20 ~ R 4. 3. 31 (予定)	

令和2年度 文化財保護法に基づく毀損届一覧

※重要文化財は文化財保護法第33条、史跡は同第120条による。

富岡製糸場

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届け日	備考
1	繰糸所中央付近南面	鉄製欄間窓のガラスが1枚破損	R 2. 5. 25	R 2. 5. 25	R 2. 5. 25	史跡
2	繰糸所内北側	鉄製回転高窓のガラスが1枚破損	R 2. 6. 22	R 2. 6. 22	R 2. 6. 23	史跡
3	繰糸所越屋根	越屋根北側の軒瓦が落下	R 2. 10. 5	R 2. 10. 5	R 2. 10. 6	史跡・建造物
4	副蚕場・副蚕倉庫	北側中央付近及び南側東端付近の波板鉄板が剥がれ、落下	R 3. 2. 16	R 3. 2. 16	R 3. 2. 18	史跡

田島弥平旧宅

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届け日	備考
		該当なし				

高山社跡

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届け日	備考
		該当なし				

荒船風穴

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届け日	備考
		該当なし				

3. 群馬県世界遺産協議会及び各市町における有識者委員会の実施状況

群馬県世界遺産協議会は、県及び構成資産の所在する4市町、またオブザーバーとして「田島弥平旧宅」の緩衝地帯がかかっている埼玉県及び本庄市を構成員とし、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を恒久的かつ確実に保存するため、関係者が相互連携を図りながら、包括的保存管理計画に定める基本方針に基づき、統一的な運用を図ることを目的として、平成24年5月に設置された。

また、世界遺産登録後も、顕著な普遍的価値を次世代に確実に継承するにあたり、学術的・専門的な指導助言を得るため、群馬県世界遺産専門委員会が平成27年2月10日に設置されている。

さらに、構成資産が所在する各市町では、世界遺産登録前後から、その価値を将来に継承するための保存修理や活用方法について、有識者による委員会を立ち上げ、議論を重ねてきた。

ここでは、各会議等の実施状況を簡潔にまとめる。

(1) 群馬県世界遺産協議会

令和3年3月18日 第13回群馬県世界遺産協議会
遺産影響評価・「富岡製糸場と絹産業遺産群」の活用方針について協議

(2) 群馬県世界遺産専門委員会

令和2年8月18日 第8回群馬県世界遺産専門委員会
令和元年度モニタリング調査結果、遺産影響評価、包括的な活用計画について協議

令和3年2月16日 第9回群馬県世界遺産専門委員会
遺産影響評価について協議

(3) 富岡市

令和2年8月17日 第3回富岡製糸場インタープリテーション検討委員会
富岡製糸場インタープリテーションガイドライン及び西置繭所多目的ホールの利用条件について協議

(4) 伊勢崎市

令和2年7月6日 田島弥平旧宅調査整備委員会現地指導
別荘整備の状況・発掘調査（現地視察含む）

令和3年3月（書面） 第20回田島弥平旧宅調査整備委員会
令和2年度実施事業報告・令和3年度事業内容の協議

(5) 藤岡市

- 令和2年10月7日 第1回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会
高山社跡整備の現状、石垣修復工事（第3期）、付属建屋の修復報告書の内容、高山社跡保存整備事業の今後の予定について協議
- 令和3年3月5日 第2回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会
整備事業全体計画、石垣修復工事、令和3年度母屋兼蚕室解体工事、令和2年度高山社跡入場者数について協議

(6) 下仁田町

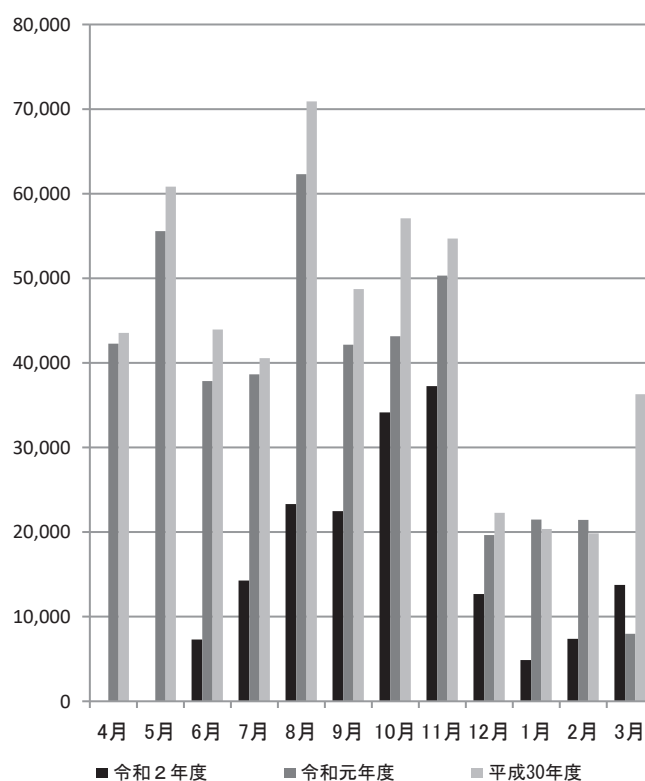
- 令和2年11月13日 第1回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会
令和3年度3号風穴はばき石積み保存工事、番舎遺構ゾーン池の調査補修について協議
- 令和3年2月24日(書面) 第2回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会
令和2年度実施事業について報告
令和3年度上記事業、落石対策工事実施設計、サイン実施設計について協議

4. 各構成資産への来訪者数の推移

富岡製糸場

単位：人

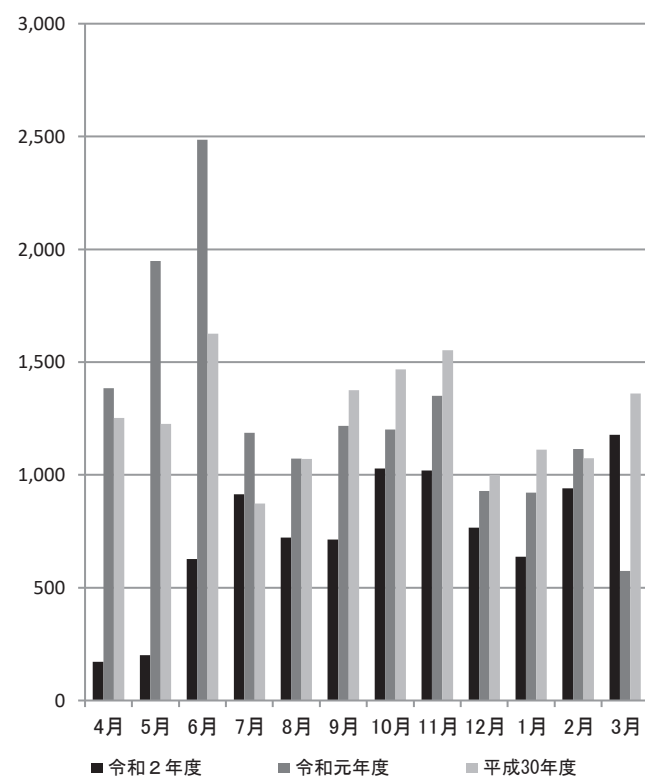
令和2年度		令和元年度		平成30年度	
4月	0	4月	42,283	4月	43,565
5月	0	5月	55,585	5月	60,834
6月	7,287	6月	37,841	6月	43,944
7月	14,273	7月	38,656	7月	40,567
8月	23,302	8月	62,308	8月	70,915
9月	22,476	9月	42,140	9月	48,730
10月	34,131	10月	43,152	10月	57,073
11月	37,270	11月	50,330	11月	54,679
12月	12,688	12月	19,661	12月	22,269
1月	4,854	1月	21,463	1月	20,351
2月	7,399	2月	21,422	2月	19,861
3月	13,739	3月	7,999	3月	36,282
合計	177,419	合計	442,840	合計	519,070



田島弥平旧宅

単位：人

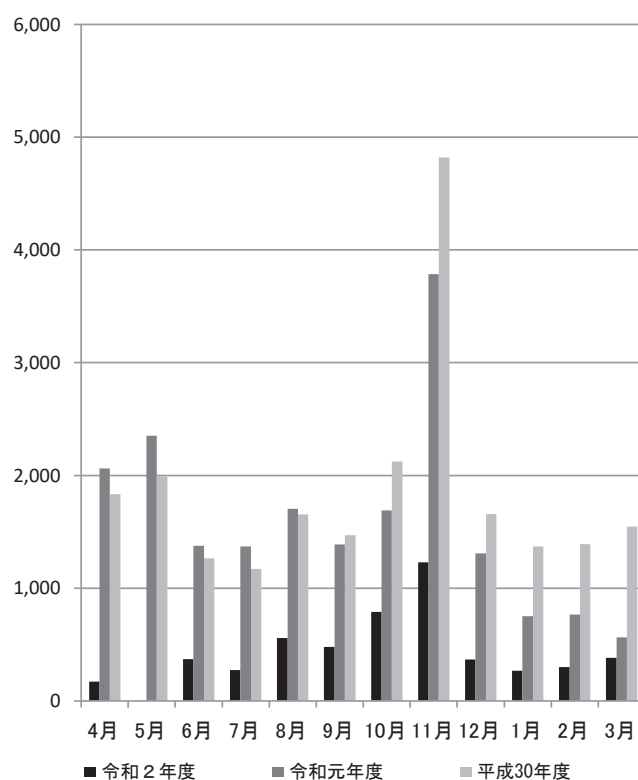
令和2年度		令和元年度		平成30年度	
4月	171	4月	1,384	4月	1,253
5月	201	5月	1,948	5月	1,226
6月	627	6月	2,486	6月	1,626
7月	914	7月	1,187	7月	873
8月	722	8月	1,072	8月	1,071
9月	713	9月	1,217	9月	1,376
10月	1,028	10月	1,201	10月	1,467
11月	1,019	11月	1,350	11月	1,552
12月	766	12月	928	12月	1,001
1月	637	1月	922	1月	1,112
2月	940	2月	1,114	2月	1,074
3月	1,178	3月	575	3月	1,361
合計	8,916	合計	15,384	合計	14,992



高山社跡

単位：人

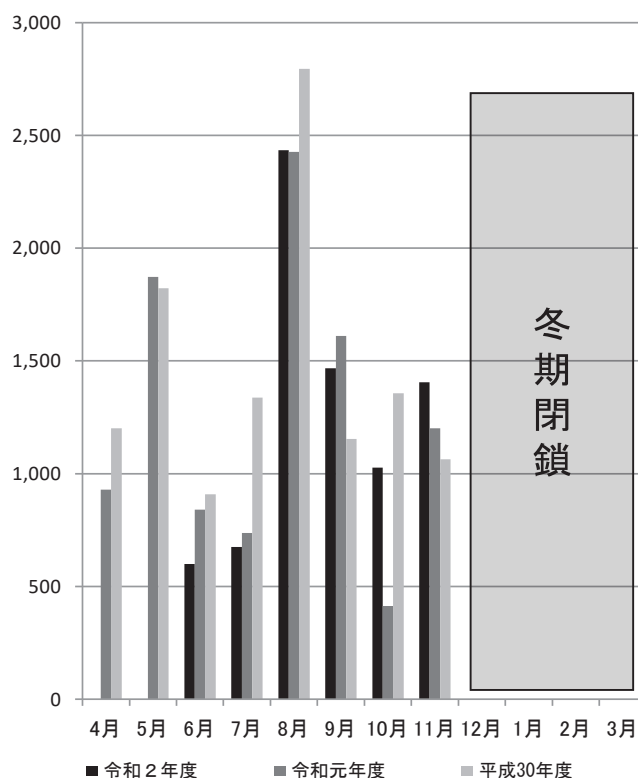
令和2年度		令和元年度		平成30年度	
4月	171	4月	2,061	4月	1,832
5月	0	5月	2,353	5月	1,992
6月	371	6月	1,377	6月	1,265
7月	272	7月	1,370	7月	1,169
8月	557	8月	1,703	8月	1,653
9月	477	9月	1,387	9月	1,470
10月	790	10月	1,688	10月	2,122
11月	1,229	11月	3,786	11月	4,821
12月	366	12月	1,307	12月	1,656
1月	267	1月	751	1月	1,369
2月	301	2月	765	2月	1,389
3月	383	3月	564	3月	1,546
合計	5,184	合計	19,112	合計	22,284



荒船風穴

単位：人

令和2年度		令和元年度		平成30年度	
4月	0	4月	929	4月	1,201
5月	0	5月	1,873	5月	1,822
6月	600	6月	841	6月	908
7月	675	7月	737	7月	1,337
8月	2,434	8月	2,427	8月	2,795
9月	1,467	9月	1,611	9月	1,154
10月	1,027	10月	413	10月	1,357
11月	1,406	11月	1,201	11月	1,064
12月		12月		12月	
1月		1月		1月	
2月		2月		2月	
3月		3月		3月	
合計	7,609	合計	10,032	合計	11,638



※12月～3月は冬期閉鎖

※令和2年度4、5月は各資産とも新型コロナウイルス感染症対策のため見学を制限した。

5. 周辺整備の状況

世界遺産登録を機に、資産そのものの整備のみならず、緩衝地帯内では見学者のアクセスや利便性向上のための整備や修景等が並行して行われている。

(1) 富岡製糸場

富岡製糸場の正門前に位置する「旧葎塚製糸場」は、富岡製糸場の見学券を販売しており、富岡製糸場の利便性を向上させるとともに、旧葎塚製糸場関連の遺物・地下遺構や、当時の小屋組みなどが見学できる施設として令和2年6月にオープンした。

旧富岡倉庫2号倉庫は、飲食・物販店及び紙漉きなど伝統文化体験ができる施設として令和4年4月のオープンを目指し整備を進めている。令和2年度は主に内部の耐震工事を行った。



旧葎塚製糸場



旧富岡倉庫2号倉庫

(2) 田島弥平旧宅

資産周辺の大型養蚕農家3件について、令和2年6月に所有者から国登録有形文化財への登録申請の届出があり、11月には国の文化審議会から文部科学大臣へ登録するよう答申となり、令和3年2月に文化財登録原簿への登録が官報告示された。

また、本庄市所在の1件について登録申請の届出がされ、令和3年3月に国の文化審議会から文部科学大臣へ登録するよう答申となっている。

・金井義明家住宅主屋

明治元年（1868年）築。木造2階建・棧瓦葺・建築面積168㎡。

特徴としては、建物の屋根上に2つの小型の櫓を設けており、1階部分は住居等の生活に、2階部分を蚕室として用いていた。1階土間の一部は馬小屋として使われており、境島村では珍しい例とされている。



・田島善一家住宅主屋

江戸時代末期築（明治41年（1908年）に曳家により現在地へ移築増築をしている）。木造2階建・棧瓦葺・建築面積294㎡。

特徴としては、屋根上には長い檜（総檜）を設け、1階土間の一部は桑場として使われ、2階は全体を蚕室として用いていた。現在は、2階の一部を月に1回、田島弥平旧宅上段の間に合わせ公開している。



・田島達行家住宅主屋

慶応2年（1866年）築。木造2階建・棧瓦葺・建築面積254㎡。

特徴としては、屋根上に長い檜（総檜）を設け、1階の大半は住居等で使われ、一部の部屋で蚕種製造が行われていた痕跡がある。2階は大半を蚕室として用い、昭和3年（1928年）に増築した顕微鏡室では、蚕の病気の有無を調べていた。棟札が残っており、建築年代が判明している建物であり、大規模蚕種製造民家の発生や発展を知る上で貴重な存在である。



（3）高山社跡

令和元年度の人道橋建設工事をもって周辺整備は完了したため、令和2年度は整備なし。

（4）荒船風穴

見学者広場に4資産共通デザインによる世界遺産登録記念銘を設置した。

また、見学者広場や第2駐車場の周辺にヤマザクラ、モミジ、ソメイヨシノ、レンゲツツジ等を植樹した。



見学者広場に設置した世界遺産記念銘



ソメイヨシノの苗とシカ除けの養生作業

6. 群馬県及び各市町における基金の状況

群馬県及び構成資産が所在する各市町では、主に世界遺産となった資産を将来の世代に引き継ぐための保存修理や周辺整備、活用を目的として基金を設置している。

(1) 群馬県

「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする「ぐんま絹遺産」の継承に資する事業に役立てるため、平成27年10月16日に「世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金」を設置した。令和2年度には2,919,407円を受け入れ、1,000,000円を文化財保存事業に、1,250,000円をぐんま絹遺産保存活用推進事業に充当した。

令和3年3月31日時点 基金残高 14,072,034円

(2) 富岡製糸場

世界遺産・国宝である富岡製糸場の文化遺産としての価値を適切に保存し、後世に引き継ぐとともに、富岡製糸場の保存活用及びその周辺整備事業の財源に充てるため平成20年9月24日に「富岡製糸場基金」を設置した。令和2年度には、1,488,947円を受け入れ、154,115,000円を富岡製糸場保存整備事業に充当し、3,415,000円を景観形成事業に充当した。

令和3年3月31日時点 基金残高 70,333,868円

(3) 田島弥平旧宅

田島弥平旧宅を活用する事業の財源に充てるため、平成26年12月16日に「伊勢崎市田島弥平旧宅活用基金」を設置した。令和2年度には7,501円を受け入れた。

令和3年3月31日時点 基金残高 25,191,447円

(4) 荒船風穴

荒船風穴の保存活用及び今後の周辺整備事業の財源に充てるため、平成26年9月16日に「荒船風穴基金」を設置した。令和2年度には6,663,659円を受け入れ、4,000,000円を文化財調査保護事業に充当した。

令和3年3月31日時点 基金残高 28,817,469円

7. 調査研究事業の実施状況

(1) 調査研究事業

事業名	事業主体	内容
絹の記憶調査研究事業	群馬県地域創生部文化振興課	世界遺産構成資産をはじめとする絹遺産を切り口に、蚕糸絹産業に携わったことのある人たちの証言を県民目線で記録し、9本のインタビュー動画を制作した。
セカイト研究会	群馬県立世界遺産センター	県及び市町村、関係機関の研究担当者が参加する研究会を実施。4資産の担当者から登録から5年間の研究成果や今後の課題等を、大学・関係機関の研究者から養蚕・製糸分野の研究成果の報告をいただき意見交換を行った。
セカイトアーカイブ	群馬県立世界遺産センター	県内に点在する養蚕や絹文化等に関する資料や書籍等の情報を収集しデータベース化を開始。公的機関に協力を依頼するとともに、個人所蔵の史資料等について情報が寄せられている。
元従業員ネットワークづくり	富岡市世界遺産観光部富岡製糸場総合研究センター	世界遺産登録の際に、世界遺産委員会から女性労働者の労働環境について調査を進めるよう勧告を受けた。富岡製糸場における労働の記憶を後世に引き継ぐ仕組みをつくる必要があることから、元従業員ネットワーク（連絡名簿）をつくり、系統だてて聞き取り調査が行えるようなシステムを構築するため、元従業員の方への「元従業員のネットワーク」の参加を募り連絡名簿の作成をした（参加募集は継続中）。
筑波大学松井研究室との共同研究	富岡市世界遺産観光部富岡製糸場総合研究センター	礎石及び煉瓦の劣化防止や建物内の環境調査など、保存科学的観点から、文化財建造物の保存環境について調査研究を行った。
発掘調査等	富岡市教育委員会	富岡製糸場の保存整備等に伴い、保存目的の内容確認調査として発掘調査を行った。調査の結果、乾燥場では前身施設の遺構が検出されたほか、各か所で遺構が検出され、遺産の理解と適切な保護を図るための情報を得た。
田島弥平旧宅発掘調査	伊勢崎市教育委員会文化財保護課	令和3年度の東門修復整備工事に伴う東門周囲の調査を行い、緑色安山岩の石組み遺構を検出した。排水設備の調査では敷地北側は土管、桑場北側はヒューム管と土管が混在する状況を確認した。また、新蚕室跡と隠居の範囲確認の調査では、新蚕室北側の可能性のある硬化面を検出した。
田島弥平旧宅史資料調査	伊勢崎市教育委員会文化財保護課	田島弥平旧宅所蔵の史資料のうち、種蔵、文庫蔵の史資料及び島村蚕種株式会社の書類を対象とし、未整理分の史資料の分類、目録作成、データ入力を行った。建造物を写した古写真や汽罐設置届、田島弥平蚕事部の広告など、今後田島弥平旧宅の整備、活用を行ううえで参考にし得る史料が発見された。
田島弥平旧宅聞き取り調査	伊勢崎市教育委員会文化財保護課	田島邦太郎（5代目弥平）の三男にあたる方から、幼少期（昭和初期）の田島弥平旧宅について聞き取りを行った。昭和初期における各建造物の用途の外、蚕具消毒に用いたボイラー室や敷地外の蚕種用冷蔵庫等の聞き取り内容は、今後調査研究を行う上で役立てていきたい。
世界遺産構成資産高山社跡の動向、その実像と課題	軽部達也（藤岡市文化財保護課長）	「高山社跡」ならびに周辺区域のこれまでの保存整備や調査・研究の状況などについて概要をとりまとめ、今後の課題について考察する。県立世界遺産センター紀要で発表（センター紀要参照）。
定点観測業務	下仁田町教育委員会	（平成26年12月から継続して実施） ・トータルステーション（19か所）はNo.14の移動が目立つため注意して観測を継続。 ・クラックゲージ（15か所）は2号風穴と3号風穴の接触部のNo.4、No.14、No.15に注意して観測を継続。 ・伸縮計（1か所）は電池切れにより断片的な観測となった。 ・温湿度（10か所）は数箇所計器の異常があった。

(2) 報告書等の刊行

書名	発行機関	発行日	内容
群馬県立世界遺産センター紀要	群馬県立世界遺産センター	R 3. 3. 31	<p>「富岡製糸場と絹産業遺産群」における調査研究の成果等についての研究紀要を創刊。第1号として石井寛治名誉顧問、4資産の研究担当者、センターの職員が執筆した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」登録5周年記念講演 伝統と革新 一群馬・世界遺産の歴史 ・富岡製糸場の公開活用と教育プログラムの実践 ・田島弥平旧宅の動向 ・世界遺産構成資産高山社跡の動向、その実像と課題 ・「荒船風穴蚕種貯蔵所」用地取得と施設の建造 ・群馬県立世界遺産センター「世界を変える生糸の力」研究所について ・「高山社会学」と世界遺産学習 一地域への愛着や誇りを基盤とする学習活動を通して
富岡製糸場総合研究センター報告書	富岡市世界遺産観光部富岡製糸場総合研究センター	R 3. 3. 31	<p>調査研究を行い報告書を発行した。『令和2年度 富岡製糸場総合研究センター報告書』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富岡製糸場の献立表について ・旧富岡製糸場セミナー・ワークショップについて ・三井呉服店から原合名会社への事業譲渡について ・富岡製糸場で開発された多条繰糸機「TO式」について ・食事からみる富岡製糸場
荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書10（総括報告書）	下仁田町教育委員会	R 2. 7. 31	<p>平成23年度から令和元年度にかけて実施した遺構確認調査の結果に、化学的分析結果や経営母体「春秋館」の資料の調査結果なども含めてまとめ、蚕種貯蔵所の全体構造と機能を明らかにした。</p>
荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書11	下仁田町教育委員会	R 3. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業について（番舎遺構ゾーン整備工事、世界遺産記念銘、支障木伐採） ・定点観測の結果 ・環境調査（温湿度、風速） ・春秋館跡（国史跡への追加指定、土蔵1突風被害） ・調査・研究（土蔵1の置き屋根構造）

8. 日本遺産・ぐんま絹遺産

(1) 日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」

平成27年4月に日本遺産に認定された。これは、絹産業に従事した女性の活躍の物語である。桐生市・甘楽町・中之条町・片品村に所在する計13件の構成文化財からストーリーが成り立っている。

令和2年度は、群馬県公式アプリ「きぬめぐり」を活用したスタンプラリーを実施したほか、県の公式 SNS を活用し、「絹の国ぐんま大発見」をテーマにしたフォトコンテストを実施した。

(2) ぐんま絹遺産

群馬県では、県内各地に残る絹に関連する遺産を再評価し、保存活用を図るため、平成23年度から「ぐんま絹遺産」の登録を行っている。絹遺産をネットワーク化することにより、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」と各地に残る絹遺産の連携を推進し、本県の地域振興、観光及び文化的事業の新たな核にしようとするものである。また、今も群馬県に息づく養蚕、製糸、織物などの絹産業を、観光文化産業的な面から再生を図る一助とするものでもある。

令和2年度には新たに3件を追加登録した。これにより、「ぐんま絹遺産」は105件、県内25市町村に所在となった。

令和2年度に追加登録したぐんま絹遺産

	登録番号	登録日	名称	所在地	文化財指定等
1	第02-103号	R 3. 3. 12	富岡倉庫	富岡市	市景観重要建造物
2	第02-104号	R 3. 3. 12	旧葎塚製糸場	富岡市	
3	第02-105号	R 3. 3. 12	緑埜精糸社跡	藤岡市	



富岡倉庫



旧葎塚製糸場



緑埜精糸社跡

第 3 章

普及関連事業の実施状況

1. 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等研究奨励事業「絹ラボ」

世界遺産登録5周年を経て、若者や地元の人々にさらに愛される世界遺産とするため、若手研究者の育成と世界遺産の価値を次世代につなぐことを目的に、「富岡製糸場と絹産業遺産群」等をテーマに広く研究を募集し、その研究費用を助成する事業として「絹ラボ」を立ち上げた。

初年度である令和2年度は、県内外から17件の応募があり、審査を行った結果、15件（うち1件は辞退）を採択した。研究成果は、地元紙への掲載や研究成果報告書の発行により、広く県内外へ発信した（当初予定していた研究成果報告会はコロナ禍のため中止）。

（1）実施主体

シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会

（群馬県、富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町、富岡製糸場世界遺産伝道師協会、上毛新聞社）

（2）対象

- ・学生の部：高校生の団体・専門学校生、短大生、大学生、大学院生の個人または団体
- ・一般の部：個人または団体

（3）研究内容

- ・「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関する調査研究
- ・日本の生糸が世界に与えた影響に関する調査研究
- ・絹産業における、女性たちの活躍に関する調査研究
- ・国内外の絹文化、絹産業に関する調査研究
- ・「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関連して当地域内における観光、教育、地域振興、景観形成などを対象とした調査研究

（4）奨励金額

1件につき上限20万円

（5）令和2年度助成実績

14件（内訳は次ページのとおり）

○令和2年度「絹ラボ」研究助成対象者

区分	研究者・団体	研究テーマ
学生 (個人)	中島瑞季（県立女子大学大学院 文学研究科日本文学専攻1年）	近現代文学における絹産業の描出
学生 (団体)	富岡実業高校地域産業科草花部	富岡製糸場と周辺関連施設の樹木・草花調査
	藤岡北高校フードビジネスコース3年生	地域活性化へ向けた高校生の取り組み ～地域の歴史を理解するとともに多くの人へ魅力を発信～
	日本大学商学部木下征彦ゼミナール	製糸場と共に歩んだまちの魅力を掘り起こす ～富岡の歴史と生活文化に注目して～
	共愛学園前橋国際大学岡井宏文ゼミ	富岡製糸場聖地化プロジェクト ～世界遺産観光地の再活性化に向けた調査研究～
	絹文化！お国ことば調査プロジェクト (県立女子大学)	養蚕ことばにおける方言分布の形成過程と養蚕業の展開
	高崎商科大学富岡研究グループ	上信電鉄の利用促進及び当該電鉄による富岡製糸場等観光客の市街地内における購買動向に係る調査研究
一般 (個人)	佐滝剛弘 (城西国際大学観光学部教授)	国登録有形文化財制度からみた蚕糸関連建造物の保存と活用のあり方 ～伊勢崎市・境島村の養蚕民家群への提言～
	川又彩夏 (高崎商科大学職員)	富岡製糸場に勤めた女性たちのライフヒストリー ～昭和期の「あたりまえ」の書き残し～
	藤井美登利 (東京国際大学非常勤講師)	官営富岡製糸所長・速水堅曹をめぐる人々 ～明治黎明期の起業家 清水宗徳の足跡をたどる～
	飯塚 聡 (吉井高校教頭)	群馬県内の蚕種貯蔵風穴の設営状況について
一般 (団体)	群馬蚕糸絹遺産研究会	群馬県北毛地域における絹遺産の探求と教育・観光の活性化
	前橋絹文化研究会	前橋の礎・製糸業の記憶
	NPO 法人森の会 (群馬シルク研究会)	群馬シルクの日米シルクロード

2. 群馬県及び各市町における普及関連事業

構成資産の所在する群馬県及び4市町においても様々な普及啓発事業が行われた。主な事業は以下のとおりである。

(1) 群馬県

実施日	事業名
令和2年9月1日～10月31日	「ぐんま応援びと」フォトコンテスト「絹の国ぐんま大発見」
令和2年9月12日～11月30日	日本遺産×きぬ旅スタンプラリー（41頁参照）
令和3年3月7日	セカイト講演会「富岡製糸場におけるイノベーション」 (42頁参照)

(2) 富岡市

実施日	事業名
令和2年10月31日～令和3年1月31日	秋冬のライトアップ
令和2年10月3日（2回実演）	浪曲ガイドの実演
令和2年10月4日（3回公演）	演劇「結び～昭和30年代の富岡製糸場～」の公演
令和2年10月11日	橘ゆり オルガンコンサート～動乱の時代、この一瞬の音の風景～
令和2年10月31日～12月13日	PIECE OF PEACE『レゴ®ブロック』で作った世界遺産展 PART-4
令和3年1月16日（2回公演）	日仏交流落語公演会
令和3年2月27日	国宝「西置繭所」グランドオープン記念「木山裕策 コンサート」
令和2年4月1日～令和3年3月31日	郷土館常設展示
令和2年12月24日～令和3年1月17日	富岡製糸場出土品特別展
令和3年2月5日～14日	市内出土品展

(3) 伊勢崎市

実施日	事業名
毎月1回第3日曜日	田島弥平旧宅主屋1階上段の間公開

(4) 藤岡市

実施日	事業名
令和2年10月31日～12月6日	藤岡歴史館秋季企画展「上州の絹織物～ぐんまの絹とふじおかの絹」

(5) 下仁田町

実施日	事業名
	該当なし

3. 主な民間の活動

(1) 富岡製糸場と絹産業遺産群全体

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
各種普及広報活動	富岡製糸場世界遺産伝道師協会	通年 (のべ28回)	イベント会場や学校での解説、体験等
世界遺産センター花壇維持管理	群馬県立富岡実業高校 群馬県立富岡特別支援学校	R 2. 7. 1 ~ 10. 19	県立世界遺産センター前の花壇にマリーゴールド等を定植。
製糸場のある街風景写真展	群馬県立富岡特別支援学校	R 2. 9. 15 ~ R 3. 3. 18	富岡製糸場等を含む街の風景写真を展示
高校生による魅力発信	群馬県立富岡実業高校写真部 上毛新聞富岡支局	R 2. 8. 1 ~ 8. 31	県立世界遺産センターを題材に高校生の視点と感性で撮ったユニークな写真を館内に掲示、地元新聞社のInstagramにも掲出し、新たな魅力を創出。
各資産プロモーション動画作成	シルクカントリーぐんま連絡協議会他		富岡製糸場と絹産業遺産群全体の動画と4資産それぞれの動画計5本を多言語で作成し県公式YouTubeチャンネル「tsulunos(ツルノス)」から配信した。外国人の青年が資産やセカイトを巡りながら魅力に触れる様子を描いている。

(2) 富岡製糸場関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
清掃ボランティア	富岡市及び民間団体等	第2土曜 第4土曜 第4日曜	場内除草を実施
花壇維持管理	群馬県立富岡実業高校	随時	場内の花壇にビオラやサルビアといった季節の花の定植及び維持管理を実施
繭玉飾り	甘楽富岡蚕桑研究会	R 2. 1. 9 ~ 1. 18	繭の豊作への願い及び伝統行事の継承として場内に繭玉飾りを設置

(3) 田島弥平旧宅関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
火災防ぎょ訓練	境島村新地区自主防災組織	R 2. 3. 11	消防職員指導のもと、消防水利の確認及び初期消火訓練

(4) 高山社跡関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
座繰り体験教室	高山社顕彰会	①R 2. 9. 9 ②R 2. 11. 19 ③R 3. 3. 18 ④R 3. 3. 22	藤岡市内の小学校にて座繰りの組立方法や煮繭・糸挽きの方法までの体験教室を実施
高山社跡解説ボランティア	高山社顕彰会	R 2. 10. 6 ~ 12. 3	高山社跡の解説ボランティアで、市内の小学校（小学4年生）を対象とした「高山社学」の解説対応を行った。
高山社跡とカイコをめぐる絵	高山社顕彰会	R 2. 10. 17 ~ 12. 18	市内の小学生より「高山社跡」や「カイコ」などに係る絵画作品を募集し、優秀な作品については表彰のうえ展示会を実施。
お蚕の学校高山社 de 展覧会	高山社顕彰会	R 2. 10. 17 ~ 11. 30	市内で活動している「まゆ花の会」の方が製作したまゆクラフト作品などについて母屋1階の床の間に展示した。
児玉町の絹遺産「まち歩きの会」	高山社顕彰会	R 2. 11. 22	児玉再発見の会員の方々の協力を得て、藤岡地域と同じく養蚕が盛んであった児玉町の絹遺産や歴史遺産などについて見学会を実施。

(5) 荒船風穴関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
荒船風穴安全祈願祭	荒船風穴友の会	R 2. 6. 25	令和2年3月31日予定だったが、延期となり、見学再開に合わせて、改めて史跡及び見学者の安全を祈願した。
荒船風穴清掃作業	荒船風穴友の会	R 2. 7. 11	荒船風穴見学者広場の清掃を行った。
来場者10万人記念品贈呈	荒船風穴友の会	R 2. 8. 22	平成23年度の見学開始から来場者が10万人に到達し、10万人目に記念品を贈呈した。また、当日は来場者に記念品を配布した。
荒船風穴安全祈願祭	荒船風穴友の会	R 3. 3. 31	令和3年度の見学再開の前日に、史跡及び見学者の安全を祈願した。

4. 群馬県及び各市町からの発行物一覧、群馬県提供写真利用許諾件数

(1) 群馬県

名 称	発行部数	概 要
令和元年度「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報	400	令和元年度における出来事や事業記録をまとめた冊子
「富岡製糸場と絹産業遺産群」メインパンフレット	30,000	各資産の紹介や日本遺産、ぐんま絹遺産の紹介パンフレット
「かかあ天下一ぐんまの絹物語ー」ポスター増刷	100	日本遺産の構成文化財追加などの修正及び増刷
セカイト周辺案内マップ	2,000	上州富岡駅東無料駐車場から富岡製糸場までを含めたセカイト周辺エリアを紹介したマップ
セカイト周知ポスター	250	
セカイト周知チラシ	10,000	

(2) 富岡市

名 称	発行部数	概 要
富岡製糸場しおり（一般用・日本語版）	100,000	
（一般用・他言語版計）	8,000	
富岡製糸場しおり（子供用）	40,000	子供用・見学者用しおり
富岡製糸場内ガイダンス展示室内用4種類パンフレット	38,000	ガイダンス展示室内に置くパンフレット
A4チラシ	50,000	

(3) 伊勢崎市

名 称	発行部数	概 要
田島弥平旧宅案内所パンフレット	7,000	
まっふるいせさき（2020年度版）	25,000	市の観光パンフレット（冊子内で資産を紹介）
世界遺産田島弥平旧宅パンフレット（改訂版）	20,000	世界遺産の概要、田島弥平旧宅及び絹産業遺産群の紹介。
世界遺産田島弥平旧宅リーフレット	50,000	世界遺産の概要、田島弥平旧宅及び絹産業遺産群の紹介。

(4) 藤岡市

名 称	発行部数	概 要
高山社跡リーフレット（改訂版）	50,000	国内観光客向け、高山社跡の功績・みどころのほか周辺観光案内等を掲載。
高山社跡案内チラシ	50,000	国内観光客向け、高山社跡の功績・みどころを掲載。

(5) 下仁田町

名 称	発行部数	概 要
荒船風穴リーフレット（日本語版）	30,000	荒船風穴の歴史や役割、仕組み等を写真や図を多用して紹介。
案内マップ	10,000	荒船風穴へのアクセスを平日ルートと土日祝日ルートに分けて両面で紹介。
周辺ガイドマップ	5,000	長野県佐久市及び北佐久郡を訪れた来訪者を対象に荒船風穴と周辺観光地を紹介。

(6) 群馬県提供写真利用許諾件数

県内市町村…1件、県外自治体…1件、民間企業等（※）…28件

（※）民間企業等の利用目的の内訳

広告・広報…7件、書籍・雑誌…10件、学習教材…2件、旅行商品パンフレット…3件、
報道…1件、その他…5件

第 4 章

群馬県立世界遺産センターの取組み

1. 群馬県立世界遺産センターの運営

展示室には解説員が常駐し、スポット解説や質問対応を実施。ガイドンス映像と展示見学をセットにした見学プログラムを提供し、団体見学やグループ活動の受け入れを実施した。

(1) 開館日

令和2年6月1日（月）

(2) 来場者数

	入場者数	学校団体数	学校団体人数	備 考
6月	792人			事前予約（～6/19）
7月	1,834人	1団体	29人	
8月	1,829人			
9月	2,268人	1団体	35人	
10月	2,682人	9団体	457人	
11月	3,247人	6団体	252人	
12月	1,320人	3団体	132人	
1月	724人			新型コロナウイルス感染症対策のため団体受入停止
2月	1,029人			新型コロナウイルス感染症対策のため団体受入停止
3月	1,420人			
合計	17,145人	20団体	905人	

- ・最大来場者数：378人（11月22日）
- ・平均来場者数：60.4人（平日：39.0人 土日祝日：102.1人）

(3) トピックス展示

展示期間	展 示 内 容
6月1日～8月31日	広がるシルクの活用方法
9月1日～11月30日	桐生の日本遺産 かかあ天下—ぐんまの絹物語—
12月1日～1月29日	実は養蚕・製糸・織物に関係していた言葉
1月30日～5月30日	渋沢栄一と世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」

(4) 新型コロナウイルス感染症対応

- ・入館時検温及び健康状態申告書の提出
- ・館内の定期消毒実施
- ・同時入場者を最大40人に制限
- ・シアターの座席数を45席→20席に削減

2. 普及活動

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値や魅力を伝えるだけでなく、各資産の活性化の一助となるべく、様々な普及活動及び広報を実施した。

実施時期	活動内容	備考
6月1日～8月中旬	センターオープン・世界遺産登録6周年記念オリジナル缶バッジプレゼント	4,000個
7月23日～10月31日	オープン記念スタンプラリー	参加者292名
9月12日～11月30日	日本遺産×きぬ旅スタンプラリー (県文化振興課と連携)	参加者722名
9月19日～11月30日	かんな・かぶら∞ぐるぶらの旅スタンプラリー (富岡・藤岡振興局と連携)	参加者1,539名
10月28日	県民の日記念オリジナルマグネットプレゼント	51個
10月31日～12月13日	レゴ®ブロックで作った世界遺産展 PR (富岡市と連携)	
10月31日～3月31日	リアル宝探しイベント「いとまき探偵トミーの名推理」 (富岡市観光協会と連携)	
11月7日～17日	来館者1万人達成記念マグネットプレゼント	1,000個
1月1日～3日	お年玉ガチャキャンペーン	参加者243名

3. 学校教育連携事業

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値や魅力をはじめとした本県における絹遺産の魅力を次世代へ継承するため、各種取り組みを実施した。

(1) 主な活動

学校向け学習プログラム実施	受入校数：20校 世界遺産としての価値を伝えるため、ガイダンス映像視聴や質問対応等を実施
学校利用ガイド作成・配布	作成部数：1,200部 県内全小中学校・特別支援学校及び埼玉県本庄市、深谷市、神奈川県相模原市、横浜市の全公立小中学校へ配布
学校キャラバン (富岡製糸場世界遺産伝道師協会への委託事業)	実施校数：21校(参加人数：延べ825人) 県内小中学校に出向き、世界遺産に関する講義や座繰り体験等を実施

(2) その他の活動

- ・ 県立富岡実業高校の写真部員による魅力発信（セカイト撮影作品展示）
- ・ 県立富岡特別支援学校の生徒による「製糸場のある街風景写真展」
- ・ 県立富岡実業高校の生徒による「繭、桑を使ったフラワーアレンジメント展示」
- ・ 県立富岡実業高校及び県立富岡特別支援学校の生徒によるセカイト前花壇整備

4. 調査研究

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」における調査研究の総合的な拠点となるよう、資産相互の連携や県内外（国内外）の絹遺産との関係性等について、基礎資料を収集・調査するとともに研究を行った。

また、研究紀要の発行や研究会・講演会等の開催により、調査研究成果の公開及び発信を行った。

（1）セカイト研究会

県、4市町（富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町）、県内大学、研究機関の研究者による研究会を実施した。

・年4回開催（7月20日、9月30日、11月25日、2月1日）

（2）セカイトアーカイブ事業

養蚕や絹産業に関わる人々が少なくなっていくなか、貴重な史資料が滅失や散逸する恐れがあるため、養蚕・絹に関する書籍・文書などの情報を収集し、検索可能な形で整理し、公開を前提とするデータベース化事業を開始した。

・現地調査6件 調査資料数151点

（3）セカイト講演会

開催日：令和3年3月7日（日）

会場：富岡製糸場 西置繭所 多目的ホール

参加者：90名

講演内容：テーマ「富岡製糸場におけるイノベーション」

鈴木 淳（東京大学大学院教授）	富岡製糸場に残された技術進歩の痕跡
石井寛治（県立世界遺産センター名誉顧問）	世界のなかの富岡製糸場

・県公式 YouTube チャンネル「tsulunos（ツルノス）」で、「湯けむりフォーラム」特別企画として動画を配信した。

（4）「群馬県立世界遺産センター紀要」の発行

調査研究成果の蓄積及び情報発信のため、研究紀要を作成し発行した。年1回発行。

第1号は県立世界遺産センター及び構成資産4市町の職員が執筆した。

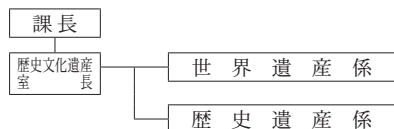
・第1号（2021） 令和3年3月31日発行

発行部数：300部

県及び各市町の組織・体制（R2.4.1現在）

（1）群馬県

《文化振興課歴史文化遺産室》



次長（係長）以下4人（世界遺産の保存整備・世界遺産・日本遺産・ぐんま絹遺産の活用及び普及啓発等）

《県立世界遺産センター》



係長以下7人（世界遺産センター運営、普及広報・調査研究）
（内2名富岡市・伊勢崎市から派遣）

《文化財保護課》



係長以下9人（構成資産保存活用に係る指導助言、補助事業に係る事務）
（内世界遺産担当3人）
係長以下7人（世界遺産等の埋蔵文化財調査に係る調整）

（2）富岡市

《富岡製糸場課》



係長以下6人（富岡製糸場の企画・広報、国際戦略、視察・メディア対応等）

係長以下5人（富岡製糸場の維持管理、保存修理、整備活用等）

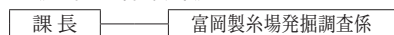
係長以下4人（富岡シルクブランド協議会の事務局、絹文化の普及等）
※シルクブランド協議会員を含む

《富岡製糸場総合研究センター》



係長以下6人（富岡製糸場の調査研究、資料の収集・保管・活用等）

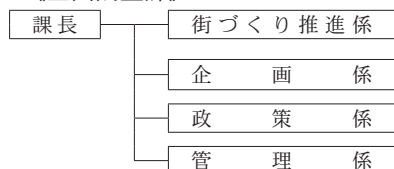
《文化財保護課》



係長以下5人（富岡製糸場保護、発掘調査、現状変更業務等）

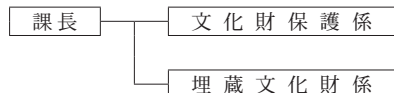
（3）伊勢崎市

《企画調整課》



係長以下4人（世界遺産の周辺環境の整備）
（内世界遺産担当2人）

《文化財保護課》

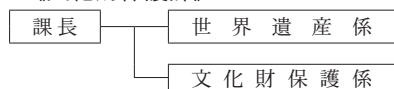


係長以下6人（史跡・建造物の保存整備・調査）
（内世界遺産担当3人）

係長以下6人

（4）藤岡市

《文化財保護課》



係長以下4人（世界遺産の保存整備活用・普及広報・民間団体連携）
会計年度任用職員7名（高山社跡解説員）

（5）下仁田町

《教育課》



係長以下3人（世界遺産担当兼任）（荒船風穴の保存整備活用、普及広報、民間団体連携）
会計年度任用職員6人（内荒船風穴解説員3人）

館長（非常勤）1人（世界遺産担当兼任）

利用案内 (R 3.4.1 現在)

富岡製糸場

- [場所] 富岡市富岡1-1
- [交通] 公共交通機関／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分
車／上信越自動車道富岡 I. C. から各市営駐車場まで約10分、有料駐車場から徒歩約10分、無料駐車場から徒歩約20分
- [時間] 9時～17時 (受付は16時30分まで)
- [休日] 12月29日～31日※点検・整備等で臨時休場となる場合があります。
- [料金] 大人1,000円、高校・大学生 (要学生証) 250円、小・中学生150円
- [見学ガイド]
定時解説 (約40分) あり
(有料1人1回200円)
- [問合せ先]
富岡製糸場総合案内所
TEL 0274-67-0075
※本書記載事項に関する問合せ先
富岡市富岡製糸場課
TEL 0274-64-0005
- [ホームページ]
<http://www.tomioka-silk.jp/tomioka-silk-mill/>

田島弥平旧宅

- [場所] 伊勢崎市境島村2243
- [交通] 公共交通機関／JR 高崎線本庄駅からタクシー約20分、東武伊勢崎線境町駅からタクシー約15分、JR 上越新幹線本庄早稲田駅からタクシー約25分
車／関越自動車道本庄児玉 I. C. から駐車場まで約20分、駐車場から徒歩約10分
- [時間] 9時～16時
※個人宅で現在も居住しているため、見学の際はご配慮ください。見学範囲は庭及び桑場1階。その他の建物内部は原則非公開。
※第3日曜日に主屋1階上段の間を公開しています。
- [休日] 12月29日～1月3日
- [見学ガイド]
サポートガイド職員による解説／団体見学の際は案内所に問い合わせください。
- [問合せ先]
田島弥平旧宅案内所
TEL 0270-61-5924
伊勢崎市教育委員会文化財保護課
TEL 0270-75-6672
- [ホームページ]
<https://www.city.isesaki.lg.jp>

高山社跡

- [場所] 藤岡市高山237
- [交通] 公共交通機関／JR 高崎線新町駅またはJR 八高線群馬藤岡駅からバス約35分、JR 八高線群馬藤岡駅からタクシー約20分 (観光タクシーあり)
車／上信越自動車道藤岡 I. C. から約20分、駐車場から徒歩約5分
- [時間] 9時～17時
(高山社情報館では、高山社に関する資料を展示しているのでご利用ください。)
- [休日] 12月28日～1月4日
- [料金] 大人500円 (高校生以下、藤岡市在住者、障害者の方は無料)
- [見学ガイド]
解説員が常駐 (無料)
- [問合せ先]
高山社情報館
TEL 0274-23-7703
藤岡市教育委員会文化財保護課
TEL 0274-23-5997
- [ホームページ]
<https://www.city.fujioka.gunma.jp/>

荒船風穴

- [場所] 下仁田町南野牧甲10690-2外
- [交通] 公共交通機関／上信電鉄下仁田駅からタクシー約30分 (観光タクシー)
車／上信越自動車道下仁田 I. C. から約50分、駐車場から徒歩約20分
- [注意] 急勾配な山道のため、動きやすい服装でお越しください。
- [時間] 9時30分～16時 (受付は15時30分まで)
- [休日] 12月～3月は冬季閉鎖
(下仁田町歴史館では、荒船風穴に関する資料を展示しているのでご利用ください。)
- [料金] 大人500円 (高校生以下、下仁田町在住者、障害者の方は無料)
- [見学ガイド]
解説員が常駐 (無料)
- [問合せ先]
下仁田町歴史館
TEL 0274-82-5345
- [ホームページ]
<https://www.town.shimonita.lg.jp/>

利用案内 (R 3.4.1 現在)

群馬県立世界遺産センター

「世界を変える生糸いとの力」研究所

[場所] 富岡市富岡1450-1

[交通] 公共交通機関／上信電鉄上州富岡駅から徒歩
1分
車／上信越自動車道富岡 I. C. から無料駐車場
(富岡駅東駐車場) まで約10分、無料駐車
場から徒歩約3分

[時間] 9時～17時

[休日] 3月～11月 毎月最終水曜日
12月～2月 毎週水曜日
12月29日～31日

[見学ガイド]

解説員が常駐 (無料)

[問合せ先]

群馬県立世界遺産センター
TEL 0274-67-7821

[ホームページ]

<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>

令和2年度「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報

編集・発行 群馬県地域創生部文化振興課
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

発行日 令和4年2月

印刷・製本 朝日印刷工業株式会社